

令和元年(2019年)5月18日(土曜日)

留学目指し高い日本語能力を

ネパールに教育施設開設

日本への留学を目指すネパール人学生に高い日本語能力を身につけさせる「日本語教育センター」が今春、同国の大学「バグマティカレッジ」にオープンした。三島市のNPO法人「グラウンドワーク(GW)三島」が企画立案して開設に至り、今後は日本を訪れた学生のサポートも担う。将来的には基金も立ち上げ、帰国した学生の起業も支援する。

GW三島企画立案

GW三島によると、同国から日本に留学する多くの若者は、母国で日常会話レベルの日本語力を身につけた上で日本に渡る。ただ、不十分な日本語では教育を受けても知識や技術の習得は難しい上、仕事にも付いていけず挫折する学生が後を絶たないという。GW三島は、母国での不十分な日本語教育がこうした事態を招いていると指摘する。開設した日本語教育セン

帰国後起業も支援へ



今春から開設された日本語教育センター
＝ネパールのバグマティカレッジ

ターでは、最難関の日本語能力検定試験を目指す2年間の「留学コース」を設置し、日本人と同等の語学力を習得した上で日本の大学への留学を促す。来日後はGW三島などが学

生の生活などをサポートする。

バグマティカレッジの理事長によるファンダムも創設され、帰国後に起業を目指す学生には無利子で資金が貸与される。GW三島など日本でも、基金を創設するなどして支援を目指す計画が進められている。

(三島支局・金野真仁)